

▼コンサータ錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】メチルフェニデート塩酸塩 (U) methylphenidate hydrochloride 【分類】中枢神経刺激剤 [注意欠陥/多動性障害 (AD/HD) 治療薬]

【単位】 ▼18mg・▼27mg・▼36mg/錠 [徐放錠]

【常用量】 ■18歳未満：初回量 18mg, 維持量 18~45mg, 最大量 54mg [増量は1週間以上の間隔で9~18mgの増量を行う]

■18歳以上：初回量 18mgを初回用量, 1週間以上の間隔をあけて9~18mg増量し, 最大 72mg

■9mgの増量には錠剤の種類を変える

【用法】 1日1回朝

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【保存期 CKD患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【特徴】 明確な作用機序は不明であるが, ドパミン再取り込み阻害作用が示唆 (U)

【主な副作用・毒性】 剥脱性皮膚炎, 狭心症, 悪性症候群, 脳血管障害, 血管浮腫, 視調節障害, 視調節障害, 頭痛, 不眠, 興奮, 消化器症状など

【吸収】 良好に吸収されるが初回通過効果を受け, 個人差も大きい (U) 食事により AUC が軽度 [14%] 上昇 (Midha KK, et al: Pharm Res 18: 1185-9, 2001 PMID: 11587491) 徐放剤のなかでもコンサータ錠は食事の影響を受けにくい (Auiler JF, et al: Curr Med Res Opin 18: 311-6, 2002 PMID: 12240794)

【F】 30 [10~52] % (U)

【tmax】 6~8hr (U)

【代謝】 代謝されて不活性体 (PPA) に変換される (U) エステラーゼにより脱エステル化され不活性な PPA に変換 (1) わずかに CYP2D6 が関与 (1)

【排泄】 尿中回収率 90%で, 80%が PPAA 代謝物として回収 (U) 尿中未変化体排泄率 1% [po, 12hr まで] (1) PPA として尿中に 73~78%回収 (1)

【CL】 497±162L/hr [po] (1)

【t1/2】 3.5hr (U)

【蛋白結合率】 およそ 15% (U) 15~16% (1)

【Vd】 20 [11~33] L/kg [小児] (1) 2508±909L/man [po] (1) 小児で 20L/kg (U)

【MW】 269.77

【透析性】 効率的には除去されないとされる (5) 資料なし (1)

【O/W 係数】 資料なし (1)

【相互作用】 MAO 阻害剤と併用禁忌 (1)

【効果持続時間】 12hr

【更新日】 20201217

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。